

油潤面硬化型防水接着剤

# オイルコート

油潤面でも施工ができる  
エポキシ系防水塗装・接着剤



排水マス内の補修例



アスファルト防水油潤面下地処理例

## オイルコートの概要

オイルコートは、乾燥面は勿論、湿潤面・油潤面に直接施工することができる2液エポキシ型の防水接着材料です。アスファルト面での接着、油の染みこんだコンクリート面の防水等に効果を発揮致します。排水槽・雑排水槽内の防水施工、厨房床の補修、アスファルト防水の補修等仕上げ剤や下地処理剤として使用することができます。

## オイルコートの硬化物性

項目	結果	試験方法
引張強度	8.8MPa	JIS K7113
圧縮強度	9.8MPa	JIS K6119
硬度ShoreB	65	
鉛筆引っ掻き試験	HB	JIS K5400
伸び率	15%	
塩水噴霧試験	240時間異常なし	JIS K5400

## オイルコートの接着性

接着材料	状態	付着力(MPa)
コンクリート	乾燥面	3
	油面	3
	湿潤面	3
アスファルト	乾燥面	2.5 (母材破壊)
	湿潤面	2.5 (母材破壊)
銅板	乾燥面	3
	湿潤面	2.5

## オイルコートの基本物性

	標準タイプ	
	主剤	硬化剤
種類	2成分変性エポキシ樹脂	
混合重量比	2	1
比重	1.38	1.32
粘度(25℃)	ペースト状	
可使時間(25℃)	120~130分	
指触時間(25℃)	4~5時間	
硬化時間(25℃)	12~15時間	



製品名	入数
オイルコート(ホワイト) 900gセット	ケース6セット入り
オイルコート(ホワイト) 3kgセット	ケース1セット入り

## 施工方法および注意事項

- 下地処理** 施工面の付着物、汚れ、劣化部分等接着性を阻害する要因部分を高圧洗浄やワイヤーブラシ等で下地処理をして下さい。
- 混 合** 混合比率 主剤2：硬化剤1(重量比率)  
主剤と硬化剤が均しく充分混合するように混ぜ合わせて下さい。  
可使時間内に使い切れる量を混合して下さい。
- 施 工** 塗布は、ゴムベラ、ローラー、刷毛等が使用できます。  
塗布回数 追掛け2回  
(2回目の塗布は1回目が完全硬化しない前に塗布して下さい。)  
標準使用量 1.5kg/m<sup>2</sup>

- 本カタログに記載されているデータは弊社が測定した信頼できるデータですが、お客様各位にてご使用された結果を保証するものではありません。使用方法、使用条件によっては本来の性能を発揮できない場合がございます。貴社の使用目的、条件に適するか使用前にテストでご確認の上ご使用下さい。
- 本カタログ記載内容は改良のためお断りなく変更することがございます。
- 施工条件などは弊社の管理外です。製品の交換以上の責任は負いません。

### 注意事項(使用上)

- 被着体の材質により下地処理が必要になる場合があります。
- 冬場など施工温度が低い場合は増粘して使用し難くなりますので、室温などで材料を暖めてから使用して下さい。但し、直接火を当てたりしないで下さい。

### 注意事項(取扱上)

- 取扱所では火気厳禁のこと。
- 取扱いは保護手袋、保護メガネ、保護マスクを使用し直接皮膚に触れないようにして下さい。
- 万一皮膚に触れた場合は石鹸を使ってよく洗い落として下さい。
- 万一目に入った場合は流水でよく洗い医師の診断を受けて下さい。
- 幼児、児童が触れる事のないように使用、保管、廃棄にはご注意ください。
- 貴社施工条件、内容等については弊社の管理外です。
- 製造有効期限は製造日より1年です。

[オイルコート ホームページ]  
<http://www.hermetic.co.jp/item/caulking/200>



■ご不明な点などございましたら弊社営業部までお問い合わせ下さい。

**株式会社 ヘルメチック**

営業本部  
 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田3-24-11  
 TEL:03-3200-7289 FAX:03-3208-8234  
 Email: accountmaster@hermetic.co.jp  
 ホームページ <http://www.hermetic.co.jp>